



うお、気持ち〜♪
これで
子供を産んだ体かよ〜♪

ケツの方も
気持ちいいぞお〜♪

あなた達
こんなことをして
ただで済むと!?

まあまあ、
安心しなよ♪

俺たちテクには自信あつから♪

そういう問題じゃ!?

くちゅ...

くちゅ...



ん！♡

ほら、

女将さんも
感じてるじゃーん♪

ケツのほうも
締め上がってるしー

ピク

それとも？

娘さんの方を
狙った方がよかった？

!?

ぐん♡

ぐん♡



・・・いいでしょう

私を好きになさい・・・

ヒュ〜♪
話が分かる
女将さんだあ〜

安心しろよお〜

旦那さんと娘さんには
黙ってやるから〜♪

よし、じゃあ〜?

とりあえずう〜?

///
///
///





だなぁ？

この調子で頼みますわぁ〜♪

いや〜

女将さんは名器だわぁ〜♪

この人たちは!!

…とにかく、
この人たちを
満足させないと…

コホォ…♡
グッ…♡

1時間後

ビクン♡
ビクン♡

俺たち二人のタッグテクで
前後不覚にならなかった女は
見たことねえからよろ

俺たちの精力とテクを
甘く見たなあ♪

さて...

これで...

パチュン♡
パチュン♡
パチュン♡
パチュン♡

アッ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡







フウ〜♪

気持ちよかったあ〜♪

いい名器だったなあ〜♪

これなら娘さんも
名器なんじゃね?

だな♪

ついでに娘さんも味見...





彼らが次に意識を
取り戻した時には
警察に突き出され

今までの罪を
追及される事に
なるのであった…



















